第9学年　家庭科

※学級を前半・後半に分け，学期ごとに技術分野・家庭分野を履修する。3学期は交互履修する。

	題　材	観　点	評価項目	時数
1学期／2学期	幼児の生活と家族	知識・技能	・幼児の身体の発達の特徴について理解している。 ・幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。	6
		思考・判断・表現	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児との関わりについて解決策を構想している。 ・幼児との関わりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
	幼児とのかかわり	知識・技能	・幼児との関わり方について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。	5
		思考・判断・表現	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児との関わりについて解決策を構想している。 ・幼児との関わりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	

3学期	家庭生活と地域のかかわり	知識・技能	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 ・高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。	5
		思考・判断・表現	・地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。 ・高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・地域との関りについて工夫し創造し、実践しようとしている。	
	持続可能な家庭生活	思考・判断・表現	・社会や環境に配慮した家庭・保育・地域などの生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。	
		主体的に学習に取り組む態度	・持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者として、社会やっ環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。	
	3年間をふり返って	主体的に学習に取り組む態度	・家庭分野で学習したことをこれからの生活に生かそうとしている。	0.5